

令和8年6月広報委員長会議

日時 令和8年6月2日（火）午後1時30分

場所 市役所3階全員協議会室

#### 【クリーンさかわのお礼】

当日（5月10日）は、自治会の皆様、地域の企業、各種団体、県・市職員など、2,538人にご参加いただき、1,920kgものごみが集められました。皆様には、熱心に清掃作業を実施していただき、心より感謝申し上げます。6月6日（土）の「山王川・久野川一斉清掃」につきましても、何卒よろしく願いいたします。地域の皆様には、日頃から環境美化活動にご協力をいただいております。市としても、小田原の豊かな自然を守るための対策に取り組んでまいります、今後ともご協力いただきますようお願いいたします。

#### 【小田原市立総合医療センターの開院後の状況について】

開院前の市民向けの内覧会には、定員100人のところ、943人から応募があり、急きょ定員を増やし、400人弱の方々にご参加いただきました。市民の皆様の関心の高さと期待の大きさが感じられ、市立総合医療センターの役割・重要性を改めて認識したところです。

開院日の5月4日に、入院患者さんを送送することで運営がスタートし、7日からは外来診療も開始し、本格的に市立総合医療センターが稼働し始めました。連日多くの患者さんが受診され、一部、受付等でお待たせする状況が生じ、ご迷惑をおかけしていますが、窓口案内職員を増員し、混雑緩和に取り組んでおり、施設内で混乱が生じないよう、また市民がいつでも安心して医療を受けられるよう対応してまいります。また、開院に伴い、最新機器の導入のみならず、ドクターヘリによる患者の受入れが可能になったこと、新しく歯科口腔外科が開設されたこと等、医療体制の更なる充実も図ってきました。今後、旧病院の跡地における駐車施設の整備が完了する3年後のグランドオープンに向け、事業を進めてまいります。

#### 【電力地産地消プラットフォームの運営開始について】

本市では東日本大震災以降、全国に先駆けてエネルギーの地域自給を目指し、行政と市民、民間事業者が連携して、さまざまな取組を進めてきました。この度、更なる大きな一歩として、令和6年9月に締結した連携協定により、東京電力パワーグリッド(株)・東京電力ホールディングス(株)・湘南電力(株)・小田原市の4者で構築を進めてきた「電力地産地消プラットフォーム」が、4月1日から始動しました。

このプラットフォームは、市内の事業所や住宅の太陽光発電などで作られた再エネ電力を、別の市内施設で使う地産地消の仕組みです。市域レベルのエリアエネルギーマネジメントとして全国的にも先進的なモデルとなるもので、電力の地産地消を促進し、市外に流出する電気料金を減らすことで、地域経済の好循環に寄与することが期待されます。このような取組により、地域自給圏の構築と2050年度までのカーボンニュートラルを目指していくものです。

#### 【都市計画道路城山多古線及び小田原山北線の開通について】

小田原駅西口や市役所、市立総合医療センター等が位置する本市の中心部から山北方面に至る主要な幹線道路である「都市計画道路城山多古線及び小田原山北線」のうち、新設した「新坂下トンネル」を含む、久野地区の山神下交差点から穴部地区の穴部駅入口交差点までの約1km区間については、神奈川県が平成25年に事業着手し、長年、県と市で丸ごと一丸となって取り組んできましたが、6月27日（土）に開通する運びとなりました。近隣の皆様には、工事へのご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

本路線の開通により、小田原駅西口から山北方面への走行時間の短縮はもとより、災害時の救助活動や緊急輸送の円滑化など、防災機能の強化も図られます。将来的には、別に神奈川県が整備を進めている「都市計画道路穴部国府津線」とアクセスできるようになることで、市内の道路ネットワークの更なる強化も期待できます。本道路の開通が、市が掲げるまちづくりの目標である「安心して暮らすことができる小田原」の実現に向けた大きな一歩になるものと考えております。

#### 【結び】

6月14日（日）まで、小田原城本丸東堀・花菖蒲園において、「小田原城あじさい花菖蒲まつり」を開催しています。小田原城花育成ボランティアの皆さんが丹精込めて手入れをされた約10,000鉢の花菖蒲と約2,500株のあじさいの競演をお楽しみいただけます。ぜひ足をお運びいただければと思います。